



ちょっとした不注意が人の命や財産を奪います

火災への備え

火災になりやすい時期は？

暖房を多く使用する冬期や、湿度が低く風の強い日が多い4月・5月の件数が多い傾向にあります。特に4月・5月は、たき火が多い時期です。

人命・財産を瞬で奪う建物火災



2023年11月 弘前市城東北

弘前市 火災原因ランキング

弘前地区消防事務組合調べ

2022年	1位 たき火	2位 ストーブ	3位 煙突、電気機器配線
2023年	1位 たき火	2位 電気機器配線	3位 たばこ

⚠ たき火をする際の注意点

野外で廃棄物などを焼却することは原則禁止されていますが、農業を営むためにやむを得ない場合は、次のことに注意しましょう。

- 風の強い日は燃やさない
- 消火用のバケツや消火器を準備する
- 一度に大量に燃やさない
- 燃やしているときは目を離さない
- 完全に火が消えたことを確認してから、その場を離れる

火が燃え広がったら、ためらわずに119番通報！

つけていますか？住宅用火災警報器 設置は法令で義務づけられています！

就寝中や仕切られた部屋の中では、火災に気づくのが遅れてしまいます。住宅用火災警報器は、火災により発生する煙や熱をいち早くキャッチし、音や音声で火災の発生を知らせることで、逃げ遅れを防ぎます。

消防法令により、警報器は、寝室への設置が義務づけられています。寝室が2階以上にある場合は、寝室のある階の階段上部にも設置が必要です。設置方法は、警報器本体を天井や壁にネジ等でつけるだけと簡単。お近くのホームセンターや電器店、ガス事業者から購入できます。住宅用火災警報器は、電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなることもあります。警報器本体の交換時期の目安は、おおむね10年。定期的に作動状況を確認し、異常がある場合は速やかに交換しましょう。

弘前地区消防事務組合
0172-32-5104(予防課)

POINT 住宅用消火器を 設置しましょう

一般住宅でも使用しやすいよう開発された住宅用消火器は、軽量で女性や高齢の方でも使いやすく、火元を狙いやすいのが特徴です。出火した場合、炎が天井に届くまでなら消火器での初期消火が有効とされています。いざというときに、すぐに取り出し初期消火ができるよう、自宅に備えて、使用方法を確認しておきましょう。(使用期限があるので定期的な交換が必要です)



火災を防ぐために 住宅火災 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- ☑ 寝たばこは絶対にしない、させない
- ☑ ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ☑ コンロを使うときは火のそばを離れない
- ☑ コンセントはホコリを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策

- ☑ ストーブやコンロなどは安全装置のついた機器を使用する
- ☑ 住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ☑ 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具・衣類、カーテンは防災品を使用する
- ☑ 火災を小さいうちに消すために消火器などを設置し、使い方を確認しておく
- ☑ お年寄りや身体の不自由な方は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- ☑ 防火防災訓練に参加するなど、地域ぐるみの防火対策を行う



落雷は命にも危険を及ぼします！停電対策も万全に！

雷への備え

落雷は場所や季節に関係なく発生し、樹木や建物など、高いものを通して落ちる傾向があります。グラウンドやゴルフ場などの開けた場所や、山頂や山の尾根などの高いところでは、人に落雷する危険性が高まります。

Check こんな前兆現象に注意！

急な天候の変化に注目しましょう

- 真っ黒な雲が近づいてきた
- 雷鳴が聞こえる
- 稲光が見える

発生前の備え

気象情報(雷注意報)や落雷情報の入手

雷注意報は、雷による被害が発生すると予想される数時間前に発表します。

大気の状態が不安定 天気の急変 雷をとまなう

天気予報でこういった表現が出てきたら注意しましょう。

Check 落雷情報は これでチェック！ 東北電力落雷情報

落雷の状況をリアルタイムで確認できます。

<https://nw.tohoku-epco.co.jp/thunderbolt/>



停電対策

懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリーなどは、すぐに持ち出せるように準備しましょう。パソコンなどの電子機器は落雷で故障する恐れがあります。雷が近づいたらコンセントから抜きましょう。

Check 23~24ページ



雷に遭遇したら

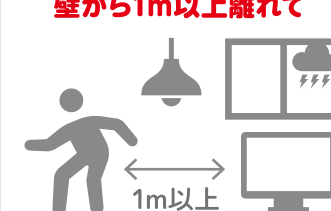
鉄筋コンクリート建築



自動車・バス・列車の中 (オープンカーはダメ)



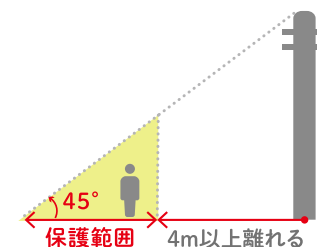
木造建築の中は電気器具や 壁から1m以上離れて



安全な空間に避難できない場合は？

電柱、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げ、その物体から4m以上離れたところに退避します。

高い木の近くは危険！木の全ての幹、枝、葉から2m以上離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにしましょう。



資料：気象庁

警戒レベル

特集

水害

災害

土砂

暴風

竜巻

台風

火災

雷

地震

雪害

停電

火山

持出品

避難所

連絡先

緊急

先